

評価結果概要表

【評価実施概要】 作成日 平成21年2月9日

事業所番号	2772403305	評価機関名	特定非営利活動法人
法人名	有限会社ウイズ・ケアサポート東田宮		近畿マネジメント・サポート・センター
事業所名	グループホーム そおれII	所在地	大阪市東住吉区山坂5丁目5番14-103号
所在地	枚方市東田宮1丁目11番30号	評価調査日	平成21年2月5日
	電話 072-844-0181	評価確定日	平成21年2月15日

【情報提供票より】 (平成20年12月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成18年4月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数	6人
職員数	7人 常勤 3人 非常勤 4人	常勤換算	4, 7人

(2) 建物概要

建物の構造	鉄筋 造り 4階建ての(2階部分)
-------	----------------------

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃 (平均月額)	6万円	その他の経費 (月額)	26,850円	
敷金	有	10万円		
保証金の有無 (入居一時金を含む)	無			
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	月額50,400円			

(4) 利用者の概要 (1月15日現在)

利用者人数	6名	男性	2名	女性	4名
要介護1	0名	要介護2	2名		
要介護3	3名	要介護4	1名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢 平均	87才	最低	80才	最高	92才

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	坂野病院 さかのクリニック こうろ歯科
---------	---------------------

【外部評価で確認された、この事業所の特徴】

開設以来3年目を迎え、利用者は安定した温かい介護を受けながら、暮らしている。又、運営者と管理者が絶ゆまぬ努力で、率先して介護の向上を図って来たので、職員も勤続し、更に、設備に比較して利用者が6名のため、気配りは十分に行われている。利用者の記録を積極的に収集し、介護計画に活かしながら、職員間のケア・レベルを一定にするように努めている

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題と、その後の取り組み、改善状況 (関連項目: 外部4)
	所在地が市役所、駅がある市の中心部に近く、付近は会社等の事業所、マンションが次々と建ち、在来の住宅地との交流が難しくなり、地域密着について現状では困難とみられる。散歩や公園等で住民とのお挨拶は交歓されているが、地域の行事としての、お祭り、運動会 盆踊り等は開催していない。地域幼稚園との交流は年数回、利用者の訪問が行われ喜ばれている。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)
	管理者が作成した原案について、職員が検討し、問題点や改善策等の話し合いをして作成している。又、職員の介護実務の経験が少ないため、運営者、管理者は職員の内外の研修へは積極的に取り組ませている。更に、管理者はヒヤリハットの申告を重視し、日々の介護で得た記録はセンター方式の記録紙で集約し、介護計画に活かすよう努めている
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容、及び、それらを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)
	地域の自治会活動の環境は、困難な状況で、お祭り、運動会、盆踊り等、普通の自治会等で行われる活動は開催されていないので、運営推進会議の出席者の方々との交流を重ねて、今後の活路を見出せるよう願っている
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)
	定期的にご家族への文書と、電話による交流をしている。ご家族のアンケートによると、安心して頂いていると見受けられる。来訪した家族との話し合いや、状況説明を詳細にしながら職員は、チームワークで、ご家族や利用者からの情報収集を行い、介護レベルの向上に役立つように努めている
重点項目⑤	日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)
	地理的環境が枚方市駅・市役所がある中心部に近いので、各種の事業所、事務所が多く、マンションが次々に建ち、旧来の屋敷町を囲む形になって、自治会活動が困難な状況にある。運営者は、運営推進会議の今後の話し合いで、地域密着の活路を見出したいと願っている。利用者、職員は、住民の方々との路上や公園で挨拶を交わしながら交流を図っている

（ 部分は重点項目です）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営					
1 理念と共有					
	1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中で、その人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念として以下を共用室に掲げている ・お客様の立場で共に考える ・お客様の笑顔と感謝の心で接すること ・チームワークで仕事に取り組む		
	2	○ 理念の共有と、日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者は職員に経営理念の実践について、定例の会議・日常の機会毎に強調している		
2 地域との支えあい					
	3	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等の地域活動に参加し、地域の人々と交流することに努めている	地域自治会が機能不十分なため、運営推進会議の今後の会議にて進展が図れることを待望している	○	自治会役員さんとの交流を、日常的に努めて欲しい
3 理念を実践するための制度の理解と活用					
	4	○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者、管理者は外部評価、自己評価の意義を十分に理解して、日常の介護向上に取り組んでいる		
	5	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービスの向上に活かしている	昨年は3回開催し運営状況の報告を基に討議をして、各種の情報と意見交換が行われた		
	6	○ 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市役所のご担当課へは機会をみては訪問し、情報交換をしている		
4 理念を実践するための体制					
	7	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び、個々にあわせた報告をしている	定期的に文書、ホーム便り等を発送し、電話も適宜に行って、報告、相談等をしている		
	8	○ 運営に関する家族等の意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族の評価も良く、ホームとの良い関係が築かれている		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	9	18	<p>○ 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>		

5 人材の育成と支援

	10	19	<p>○ 職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	○	勤務条件も含めて勤続の改善に努力して欲しい
	11	20	<p>○ 同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて質を向上させていく取り組みをしている</p>		

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1 相談から利用に至るまでの関係づくりと、その対応

	12	26	<p>○ 馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して納得した上で、サービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>		本人、ご家族に対し、無理強ひせず、説明と、ホームの生活を見学してもらい、納得して頂いている
--	----	----	---	--	---

2 新たな関係づくりと、これまでの関係継続への支援

	13	27	<p>○ 本人と共に過ごし、支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>		若い職員が多く、利用者によく話し合っており、教えて頂きながら、介護に当たっている
--	----	----	--	--	--

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1 一人ひとりの把握

	14	33	<p>○ 思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>		日々の記録に職員の見取りで、利用者の言動を把握、記載し、申し送りで、日々の介護レベルの向上に活かしている
--	----	----	--	--	--

2 本人がより良く暮らしを続けるための介護計画の作成と、見直し

	15	36	<p>○ チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>		職員会議で記録を基に、個人のケアの見直し、目標に対する新たな計画をしている
--	----	----	---	--	---------------------------------------

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	センター方式で記録の見直しを実施しており、利用者の以前から現在までの経過を基に、職員間で検討会議をし、新しい計画を作成している		

3 多機能性を活かした柔軟な支援

17	39	○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や、家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者、ご家族の状況により、適宜、柔軟に支援をしている。又、事業所はタクシーの営業免許を取得したので、利用して頂いている		
----	----	---	--	--	--

4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

18	43	○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られた、かかりつけ医と、事業所の関係を築きながら、適切な治療を受けられるように支援している	利用者全員がホームの契約医師の往診を受けている。医療連携体制により、急な往診にも対処して頂いている		
19	47	○ 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や、終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびに、かかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居の年数が増えるに従い予測できることなので、ホームとして対応を検討している	○	他のグループホームとの情報交換、医療連携先からの指導等も受けて、職員のレベルアップから検討して欲しい

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1 その人らしい暮らしの支援

(1) 一人ひとりの尊重

20	50	○ プライバシー確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	職員間の会話の際には、プライバシーについては、特に配慮するよう指導している		
21	52	○ 日々の、その人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の配置の関係もあるが、可能な限り希望に沿うに配慮している		

(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援

22	54	○ 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者には、適宜に手伝いをして頂き、食事の際は、お互いに話し合いながら進めている		
----	----	---	--	--	--

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	23	57	<p>○ 入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		週3回入浴して頂いている。嫌がる方が多いが、適宜に対応している

(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援

	24	59	<p>○ 役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		見守り記録や、本人の気持ちを図りながら、支援の変更もしている
	25	61	<p>○ 日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりの希望にそって戸外に出かけられるよう支援している</p>		天気の良い日には、出来るだけ散歩に出かけるよう配慮している

(4) 安心と安全を支える支援

	26	66	<p>○ 鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中、玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		ホームは2階にあり、階段が狭くて急なため、安全上、已むを得ず入口ドアは鍵掛けとなっている
	27	71	<p>○ 災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		年4回、職員で避難訓練をしている、地域の協力を頂けるかどうかについては、まだ、その段階にはなっていない

(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援

	28	77	<p>○ 栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>		食事、水分の摂取量は記録して、体重管理も行われている
--	----	----	---	--	----------------------------

2 その人らしい暮らしを支える生活習慣づくり

(1) 居心地のよい環境づくり

	29	81	<p>○ 居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		共用室、廊下の壁面には、書道の作品、行事の写真等が貼られ、和やかな雰囲気である
	30	83	<p>○ 居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		居室は日当たりが良く、室温は適宜に調節されている、部屋には家具の持ち込みは自由になっているが、余り持ち込みはされていない